



# 静岡市立東豊田小学校 出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月20日(火)



「どの内容も本当におもしろくて、  
子どもたちが楽しんでいることが分かりました。」

静岡市立東豊田小学校の6年生114人が、縄文・弥生時代の人々の暮らしについて理解を深めるとともに、埋蔵文化財センター調査課の仕事内容を知り、生き方を考えることを目的に、発掘調査と周辺遺跡の話、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの体験を行いました。

## 発掘調査と 周辺遺跡の話

埋蔵文化財センターの業務と学校周辺の遺跡について話しました。発掘の仕方など、メモをとりながら夢中になって聞いていました。学校周辺の遺跡に、曲金北遺跡と片山廃

寺があることを知り、驚いていました。

「発掘をやってみたい。掘って土器や骨を見つけてみたい。」



06/20/2023

## 土器の分類体験

縄文土器・弥生土器・須恵器の3種類の土器片を、完形土器と見比べて分けました。縄文土器の縄目模様が、機械もない時代にきれいに付けてあり、縄文人の技術に感心する子どももいました。弥生土器と須恵器の見分け方が少し難しかったようですが、作り方の違いを知ることで、分けることができました。

「本当に縄文時代や弥生時代の人々が作った物なんて、すごい！」

いにつけてあり、縄文人の技術に感心する子どももいました。弥生土器と須恵器の見分け方が少し難しかったようですが、作り方の違いを知ることで、分けることができました。



## 石器の試し切り体験

黒曜石がカッターナイフのように、紙や野菜も切れてとても驚いて

いました。昔の人は、黒曜石を採りに海を渡って行って、道具を作っていたことを学びました。

「思っていたより簡単に切ることができてびっくりした。包丁より不便なので昔の人は大変だと思った。」



06/20/2023

## 火起こし体験

上下に弓を動かして棒が回る仕組みなので簡単だと思っていた子どもたちでしたが、思っていた以上に大変だったようです。

「ずっとやってみたいと思っていたから、体験できてうれしかった。火がついたときは本当にうれしくて、グループみんなで喜び合った。」



06/20/2023

## 先生方の感想

「大昔の想像しにくい生活を、体験したり考えたりすることで、人々が知恵を働かせて道具を進化させたり、環境に合わせて生活を変えてきたりしたことを学んでいました。土器の違い、調査、石器、火起こし、どれも新発見で、驚いていました。今より大変なこと、身近な場所の遺跡など、教科書だけでは学べないことばかりでした。子どもにもわかりやすい言葉で、丁寧に教えていただきありがとうございました。実物やフリップ、スライド等用意していただいたおかげで、最後まで興味をもって聞くことができました。来ていただけて本当に良かったです！！非常に貴重な体験をすることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました！！」

